

7月26日(金)、27日(土)、第31回しだれとこ夏まつりが開催された。斜里ねぶた、夏まつりが開催された。

7月26日(金)、27日(土)、第31回しだれとこ斜里ねぶた、夏まつりが開催された。

7月26日(金)、27日(土)、第31回しだれとこ斜里ねぶた、夏まつりが開催された。



# 商工会だより



400個、斜里産小麦「きたほなみ」25キロ、卵80個、砂糖5キロ、バタ10キロを使用した。

また同日、斜里産小麦と弘前産りんごを使用した「特製スイーツ」を

町内の菓子店や飲食店4店舗が合計7品を作成し、道の駅しやり前で合計240個を来場者に無料配布した。手に

発行所 斜里町商工会

〒099-4113 斜里町本町29番地8

電話 0152-23-2185

FAX 0152-23-0501

e-mail:shashoko@rose.ocn.ne.jp

発行日 平成25年9月5日

会員 员田裕

広報 神田斜里

編集責任者 (有)

印刷

（25日～27日）では、友好都市・弘前市の銘菓や工芸品が一堂に集まり、りんごを使った食べ物や地酒、漬物、ねぶた関連商品が販売され、多くの来客があった。今年も姉妹町・竹富町からのマンゴーとパインの販売は長蛇の列ができ、先頭は10時から並んでいたという人気ぶり。商店街売出し抽選会では、1等のダイソン掃除機をはじめ、2等のホームベーカリー、特別賞のホテル宿泊券、斜里・ウトロ間の往復バス券、観光船乗船券と豪華賞品が並び当選の玉ができると歓喜の声が上がった。

27日午後からは、各商店街でイベントが行われ、本町商店街では「ビンゴゲーム、もちまき大会」。錦町商店街では「チビッコ集まれ遊具の貸出し」。銀座商店街では「エレクトーンステージ演奏」。港町中央商店街では「港町露天祭」。各々の場所で賑わいを見せた。ねぶたフェスティバルは、道の駅前で実施され、熱気と躍動感で溢れていた。また、同会場では、盟約30周年記念事業、小山内薰氏による津軽三味線演奏が行われ、観客らは三味線の透き通つた音色に聞き入っていた。

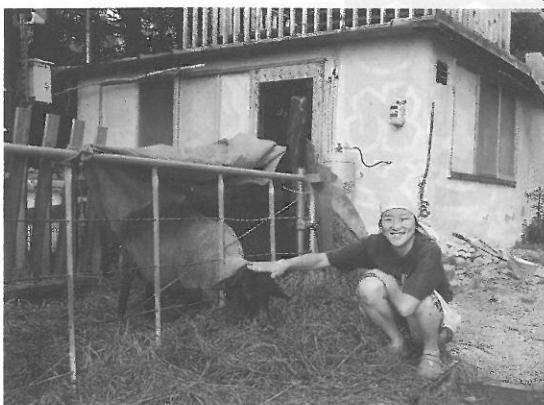
今年のねぶたまつり・しだれとこ夏まつりには、極端な気温の上昇もなく、練り歩くにはちょうど良い気温。まつり日和の2日間であった。

ウナベツ岳メーメーベーカリー

「天に続く道」の突き当たりを左折し海に向かって降りていくと右手に羊が描かれた手作りの看板が目に付く、ここが千葉県出身の小和田久美子さんが経営するパン屋『メーメーべーカリー』です。

峰浜の丘の4.8haの大きな森の中にある小さなパン屋さんは、昨年1月にオープンした。店先は、なだらかに畑が広がりその上に海が見える。この場所の景色が気に入り大家さんを何回も訪ね、ようやく借りることができた。

古い民家を改装した手作り感満点の店は、ところどころ昔の面影が窺える。中に入るとデーンと構える大きな薪ストーブ。約20種類のパンとクッキーを並べるショーケース、8



## 従業員のミシェルと小和田さん

小和田さんは、東京農大卒業後羊毛織物の織子、羊牧場では飼育や毛刈り等を習得、その後縁あつて「みさきの風」でパンの製造販売にかかり今経営に至った。

メーメー・ベーカリーは、社会的企業として環境・福祉など社会的課題の解決に自分なりのやり方で貢献している。安心・安全な地場産品にこだわりパン作りに励んでいる。また、「みさきの風」の施設外就労場所になつっている。

客層は以外にも観光の方が多いと思いま  
いきや地元のリピーターの方が多  
い。3時頃には、ほとんどのパンは  
売り切れる。手暇掛け苦労して薪  
釜で作つたパンの美味しさが伝わつ  
た証です。巷では「美味しいけどち  
よつと高いのよね」とには訳があつ  
たのです。

30℃を超える。暑いと発酵も早く更に忙しくなり一人で何から何までやっているから大変だという。土・日はランチメニューがありチョー忙しくなるので、その時ばかりはお手伝いに来てもらつてているという。

人程度座れるカフエスペース。また、入り口や壁にはいたる所に小和田さんの友達が作った野菜やオーガニック製品、絵葉書などが並んでいる。パンは、道産ライ麦粉からおこした自家製酵母と斜里産小麦を中心にもつて、。春の、（吉田）

「最終形は、一つ屋根の下で毛織物の創作活動とパンを作つていきたい、また、豊かな自然と美味しい食べ物を通して様々な人が交流できる場所にしたい。」と語つてくれた。

## 町民仮装盆踊り大会



商工会青年部（音無悟部長）と自治会連合会児童福祉部会（上野敏雄部会長）が主催する町民仮装盆踊り大会が8月15日(木)に開催された。

りのムードが道の駅を包み込んだ。午後6時30分、子供の部（テーマ「アニメ・ヒーロー」）の踊りが始まる。子供たちのぎこちないが愛らしい姿に魅了される観客。心配そうに見つめる家族たちが印象的だった。

大人の部の仮装チームは、「アニマル（動物）」。沿道からの応援の声や参加者の熱気溢れる踊りが相まって賑わいを見せた。今大会の順位は、優勝“南国の鳥”（インパクトスターホースチーム）。準優勝“C.A.T.S”（商工会女性部）。3位“ライオングキング”（よさこい・びしやせん）。4位“つる”（山下1号）、5位“ウサギのくいしんぼう”（掛川）、6位“金太郎と足柄山の仲間”（斜里町児童民生委員）。7位“ミーヤキヤツト”（山下2号）、8位“ドラネコ”（ドラえもん）となつた。優勝したチームの衣装の鮮やかさとキレの良い踊りには感心するものがあつた。審査発表時には敵味方関係が、準優勝の商工会女性部の衣装の完成度の高さには目を見張るものがあつた。審査発表時には敵味方関係なく惜しみない拍手が送られた。参加者の一人は「もう少し上の順位を期待していたので残念。それでも来年も参加したい。」と語った。

今年の参加チームは8チーム、人數は49名と昨年より7名増加。毎年変わる衣装作成に時間を割き参加してくれる参加者には、まつたく恐れ入る。毎年の事だが、参加チームがもう少し増えることを期待したい。

8月24日午後5時から道の駅しゃりにおいてSTV24時間テレビチャリティー募金応援隊に認可され、チャリティー募金が行われた。斜里町で募金活動が行われるのは今年で7回目を数える。音無悟部長を中心に商工会青年部が募金の他、ブルタブ・エコキヤップの回収が行われた。

大勢の方から協力を得られ、募金の金額は7万6941円、ブルタブは80・6kg、エコキヤップは271kg集まつた。

ご協力を頂いた方の中には「毎年ここに持つて来るのを楽しみにしています」との嬉しい声も聞かれた。音無部長は「今年も沢山の募金、リンクブル、エコキヤップ等をご寄



今年もこんなに集まりました

# 24時間チャリティ募金活動（青年部）

付頂いた全ての方々に感謝致します。この活動を通じ少しでも世の役に立てればと思います。」と熱く語る。また「エコキヤップの回収について、ジュース・お茶以外のキヤップは回収出来ないのでご協力を頂ければ大変ありがたい」とも語った。

座が開催された。オープニングイベ  
ントの餅まきから始まり、楽市では  
「“斜里めし”」の頂点を極めるのは  
誰だ！一発入魂レシピ対決」が行わ  
れ道の駅テラスと斜里工房しげと  
屋の前では、斜里の食材を用いた16

**プレミアム商品券  
換金期限について**

プレミアム商品券の換金期日が迫っています。

**換金期日：9月13日(金)**

※期限を過ぎた場合は、換金できませんのでご注意願います。

知床しやり  
樂市・樂座

8月25日午前11時から道の駅テラスと斜里工房しだれとこ屋駐車場において、第10回知床しやり楽市・癒

また、商店街の抽選会には開始15分前から列をなし、当選の度に景気の良い鐘の音が鳴り響いていた。

毎年好評の「ジャンボでんぶん園子」には雨降りの中でも子供から年配の方まで幅広い層の観客を集めた。昨年に続き芸王グランプリ2007に輝いたクロさんによるジャグリングパフォーマンスで会場を一段と盛り上げていた。

知床しやり樂市・樂座実行委員会  
門間委員長は「今年で10回目を数え  
る事が出来た。御協力を頂いた出展  
者の方々とご後援を頂いた各団体、  
長年支えてくれているスタッフに感  
謝したい」と話した。  
(滝川)

● テーマ	新任管理者養成講座(実践編)
期 間	10月22日(土) 25日
対象者	管理者
内 容	管理者に必要な部下育成・問題解 決力・企画調整力など総合的に学び たい方におすすめです。

中小企業大學校

- 7月5日 第1回地域振興委員会  
8月2日 第376号広報委員会  
8月8日 総務企画委員会

## 会員の状況

加 入 者

渋田  
大

平成25年9月5日現在会員数  
366名

## コーナー

### ○第191回ふらつとナイト

●とき 9月13日(金) 午後7時～ 雨天決行！

●ところ 実施商店街

### お知らせ

#### ○しれとこ産業まつり

●とき 9月22日(日) 午前9時30分～  
●ところ みどり工房斜里

### 親睦パークゴルフ大会

8月25日(日)第18回商工会親睦パー

クゴルフ大会が37名の参加により町  
営パークゴルフ場（シーサイド）に  
おいて開催され、36ホールにより競  
技が行われた。順位は次のとおり。

優勝	松澤 利明
準優勝	加藤 政則
1位	小池 孝一
2位	鈴木 幸一



### 労災保険特別加入制度について

労災保険は、労働者の業務または通勤による災害に対し保険給付を行う制度ですが、労働者以外でも、業務の実情、災害の発生状況などからみて、労働者に準じて保護することが適当であると認められる人は、特別に任意加入を認めています。これが「特別加入制度」です。

基礎日額について、新たに2万2千円、2万4千円、2万5千円が選択できるようになりました。従来は、

3千5百～2万円の範囲で決められた日額でした。

#### ◆すでに特別加入している方

平成26年度から変更後の給付基礎日額が選択できます。

給付基礎日額の変更を希望する場合は、年度末（平成26年3月18日～3月31日）または労働保険の年度更新期間（平成26年6月1日～7月10日）に手続きとなります。

#### ◆新規に加入する方

9月1日から、すべての給付基礎日額を選択できます。

## はまなす



\*来年4月から消費税を上げるかどうかを決めるタイミングミットが次第に近づいて来た。

新聞等マスコミでは上げるにやむなしとの風潮が目立ってきているのが、とても気になる。どのようなサンプリングをして数字を作っているのかは説明も明らかではなく、作為的ではないかと疑つてみたくもある。つまりはあまりにも説明が少なくて、上意下達有無を言わざず感しかないのである。「財政再建は別の方法がありました。消費税はこのまま変えずに行きましょう。」という言葉を祈るような思いで待つことにす

\*NHKの朝ドラ「あまちゃん」が好評だという。能年玲奈演じる平凡な現代っ子が、元気に成長していく姿が面白く楽しめる。どの町にもある地域活性化の様々な問題やヒントと現代風（？）芸能界の側面が脚本家の意図に乗せられてしまい心地良い（いや、なんといっても小泉今日子）。ドラマのおかげで岩手県北三陸の一地域と「北の海女」は、すっかり全国的に名前を売ってしまった。この号が読まれる頃にはどんな展開になつていることか。今しばらくは朝の生活リズムに浸りたい。頑張れあまちゃん。

(神田)